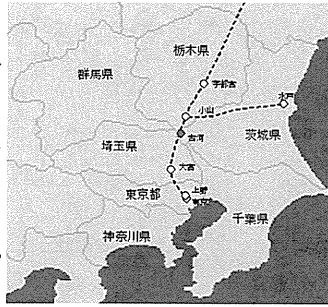


私は大学を卒業するまでの22年間を茨城県の古河市というところで過ごしました。グアムで出身地を尋ねられると、家を残してきている埼玉県川口市と答えた後に「生まれと育ちは茨城県古河市」と付け加えることが多いのは、やはり県民、市民としてのプライドでしょうか。



古河市は茨城県の最西端、その気になれば茨城、埼玉、群馬、栃木の4県を歩いて巡ることが出来るという稀有な場所にあります。文化圏としては都心から東北方面に向かうJR東北本線や国道4号線の影響で、どちらかという東北圏に近いのかなと思います。福島県出身の同僚に古河の方言を使ったところ、通訳無しで理解してもらえました。イントネーションはつぶやきシローやU字工事（いずれも栃木県出身）を想像していただければ近いです。

子どもの頃の思い出は神社での缶蹴り（境内の裏手に回ったら怖いお兄さん達が…）、クワガタ採り（木を蹴ったら首筋にカミキリムシが落ちてきたりスズメバチに追いかけられたり）、利根川・渡良瀬川での魚釣り（ヘラブナを釣りに行って結局クチボソ、タナゴ等の小物に走るのはグアムでも変わってません）、提灯もみ祭（長い竿に括りつけた提灯をぶつけ合う喧嘩祭り。子どもの部でも大人同士が喧嘩してました）、花火大会など尽きません。

古河は万葉集にも許我という表記で詠まれるほど古い歴史を持ち、室町時代には関東足利氏（古河公方）の本拠地として、江戸時代には日光街道の宿場町として栄えました。古河城というお城もあったそうですが、残念ながら渡良瀬川の河川改修事業で撤去されてしまい、私の通っていた小学校の隣にわずかにお堀の跡を残すのみとなっています。（これも最近モダンに整備されてしまいました。）高度成長期には東京のベッドタウンとして市街化され、冬の寒さと夏の暑さが極端なことを除けば、歴史と自然と住宅

街とが適度に調和した暮らしやすい街であると思います。街の各所には史跡も多く存在し、散歩にはもってこいの場所です。春には広大な総合公園で桃祭り、夏には渡良瀬川の河川敷で大規模な花火大会も開催されます。

そんな魅力に富んだ古河ですが、近年の都心回帰の傾向や近隣地方都市との競合、郊外型大型店舗の出店による地元小売店の圧迫など、中小都市に共通の多くの問題を抱えているようです。私が古河を離れたバブル崩壊直後はまだ活気が残っていたと思いますが、最近は再開発等で街並みが整然としていく一方で、地元商店街に少し元気がないように感じています。今後は平成の大合併の折に実施された、大規模工業団地を持つ旧総和町、旧三和町との合併の効果に期待したいところです。

今回の原稿を作成するにあたり約17年間のブランク（1年間は家の事情で古河に住んでいましたが）を埋める必要があり、地元の友人に協力を依頼しました。彼を始めとして、我々の世代が古河を盛り立てるべく商工会等で活躍しているのを聞いて非常に心強く思った次第です。故郷が活気を取り戻し、ますます発展することを願いつつ、この拙い原稿がほんの僅かでも私のふるさと、茨城県古河市の宣伝になれば幸いです。 濱中 信



協力：レストラン サンローゼ 後藤隆史君

幼稚園からの同級生、忙しい中地元の現況を教えてくださいました。食材にこだわりあり。個人的には特にハンバーグをお奨めです！古河にお越しの際は是非！！（2月に移転新装オープン予定）



2013年 日本人会新年会報告



「新年明けましておめでとうございます。」という挨拶が飛び交う中、日本人会主催、2013年(2012年度)の新年会がGUAM REEF HOTELさんの「BEACH TOWER 18階”BAY VIEW”」会場をお借りして開催されました。当日は100名を超える会員の皆様に参列して頂き、米国歌・グアム州歌・君が代の国歌斉唱から始まり、名誉会長でおられる清水総領事のご祝辞と、米山日本人会会長のご挨拶を賜りました。続いて本年の干支にあたる巳年を代表しまして、グアム日本人学校長の中村 宏校長先生による一年の安泰を祈願してのご挨拶、並びに乾杯のご発声を頂戴致しました。

祝賀会会場では、ホテルさんのご配慮でお雑煮他お正月風料理もご用意頂き、終始和やかな雰囲気の中で数少ない会員間の交流の場としてご談笑を楽しませておりました。人物往来のコーナーでは昨年新たに仲間に入られた会員の方々もご紹介し、つつがなく会の進行が続きまして。

新年早々にも関わらず多数の会員の方にご出席して

いただいた事を、この場をおかりして厚く御礼申し上げます。日本人会の会員の皆様にとって、本年が素晴らしい良き年でありますように祈念申し上げ、新年会のご報告とさせていただきます。 総務部部長 田中 真行

